

西東京市

# 図書館だより

平成17年(2005年)10月1日

第19号

中央図書館

西東京市南町5-6-11  
0424-65-0823

下保谷図書館

西東京市下保谷4-3-18  
0424-21-3060

芝久保図書館

西東京市芝久保町5-4-48  
0424-65-9825

谷戸図書館

西東京市谷戸町1-17-2  
0424-21-4545

柳沢図書館

西東京市柳沢1-15-1  
0424-64-8240

ひばりが丘図書館

西東京市ひばりが丘1-2-1  
0424-24-0264

編集・発行：西東京市図書館

ホームページアドレス <http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>



碧山小 5年 小河原真琴

## 2 絶景かな

エンジン色に塗装された二両編成のディーゼルカーが、息せき切って急勾配を上がってきた。と思うまもなくゆっくりと停止する。車内放送が始まる前から歓声が沸き起る。JR九州肥薩線(ひさつせん)鹿児島県隼人町(ひばりと)熊本県八代市)の白眉、車窓眼下に展開する霧島連山とえびの盆地、南方遙かに浮かぶ桜島を五〇〇メートルの高みから俯瞰する。

北海道旧根室本線の狩勝峠(かりかたのとうげ)、長野県篠ノ井線(しののへせん)の姨捨駅(おはまごえ)と並ぶ日本三大車窓の大パノラマに、絶景かな絶景かな。一分近く停まっていてくれたのか、再びエンジン音がこだまする。

ここから最高所の矢岳駅(やたけ)へは、二〇九六メートルのトンネルで峠を越すが、肥薩線最大の難所で、工事は困難を極めたという。トンネルの双方の入口には、鉄道院総裁・後藤新平(ごとうしんぺい)と通信大臣・山縣伊三郎(やまがた いさざぶろう)の石額(いしがら)がかかり、これにちなんで、列車名も、しんぺい、いさぶろうと名づけられている。車内モニターが内壁を映し出し、煤(すす)の匂いがかすかに漂う。

その矢岳駅では、七分停車する間に、SL展示館へ案内してくれるという。D51と呼ばれた馬力のある貨物用の機関車を見上げ、動輪の大きさに驚く。

しんぺい号最後のハイライトは、大畑駅(おおはた)手前のループ線だ。右手下方に小さく見えた駅舎へ向かって、急カーブを描きながら徐々に高度を下げて行く。一周したと思いきや、運転手が後ろへ向かって歩いて行き、進行方向を変えて坂を下る。これがスイッチバックで、ループ線とともに山岳路線での高低差を克服するウルトラ技の連続だ。ホームに出て、今のルートを確認する。古い駅舎のたたずまいを脳裏に刻んで、車中の人となる。

平均時速二八キロの鈍足列車ながら、時間をたつぷり使った贅沢(ぜいたく)な鉄道旅行。次は、昼夜ともに美しい姨捨駅からのパノラマを見に出かけよう。

(K・N)

★声の広報をお届けしています

お問い合わせの方でご希望の方がいらっしゃいましたら  
谷戸図書館(☎21-4545)・柳沢図書館(☎64-8240)へお問い合わせを